

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 4月 1日 事業所:利府こども発達センター あのね

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		長期休みの際に午前からの利用児が多いこともある。定期的に整理整頓を行い、適切なスペースの確保に努めている。 ホールを使えるので、内容によって使い分けができます。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3		適切ではあるが、週休等で不足の時は他部署にヘルプの要請をしている。他部署との連携は必要だと思います。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		未回答1 車椅子や歩行器が通るには狭いと感ずるところはあるので注意している。	歩く動線が確保できたり、必要な配慮ができるよう努めて居る。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	5		会議等で職員全体で情報を共有して振り返っている。PDCAサイクルの参画に対する意識は乏しい。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			活動の内容のアンケート実施や面談等の機会意向を把握している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			未回答1 新人研修や必要な研修等施設全体として研修企画や実施を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			スタッフ皆で個別支援会議を行い、一人ひとりの課題の分析を行い、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		共有のツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			毎日行われている打ち合わせの中や定例会議の中で行っている。会議や実際に活動をして、工夫しながら行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			週に分けてプログラムが考えられている。それぞれの意見を尊重しながら、常に利用児が楽しめる工夫がなされている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		1	それぞれの意見を尊重しながら、常に利用児が楽しめる工夫がなされている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		障害の特性や個々の好み等に応じた計画がなされている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日事前の打ち合わせを行っている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4		送迎などの関係で当日振り返りが難しい。翌日又は定例会議の中で振り返りや反省を行っている。気づいたことなど情報共有は行われている。	当日終了後に行うよう努力していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		日々の様子を記入し、重要なことは共有し支援につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		定例会議の中で細かなモニタリングや情報共有し、必要に応じ判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			各担当者が情報収集や記録をもとに詳しい状況を把握している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		学校によっては連絡調整や情報が欠けることがある。相談員→学校→事業所との情報共有をモニタリングや支援会議、担当者会議を通して必要時行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		未回答1 家族を介して、医師からの指示書を頂き、それにそってケアを行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				未回答1 送迎時や面談、必要時に臨時的な面談を実施している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	2	必要時、保育士や研修を受けた職員を中心に対応している。	
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			担当者もしくは相談の内容により専門職やリーダーが対応している。	

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		リーダーや主任が中心として対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月1回お便りを発行し、写真や様子がわかる内容の記事を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報には十分注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		必要に応じ面談を実施している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		前期、後期の活動の中で行われている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		新人研修などで虐待防止担当者より研修が行われている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		未回答1 対象児がいない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	1	危機的な情報があった際には、打ち合わせをして共有している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です